

## 令和5年（1月～12月）における災害統計の速報値について

令和5年（1月～12月）における災害統計を取りまとめたので、お知らせします。

## 1 火災 【火災件数は197件で、北九州市発足以降、最少】



令和5年中の火災件数は197件でした。前年より50件（20.2%）減少し、**北九州市発足以降、初めて200件台を下回り、過去最少**となっています。このうち住宅火災は69件で、前年より25件（26.6%）減少しています。

火災による**死者数は10人**で、前年より**2人減少**しています。このうち住宅火災による死者数（放火自殺者を除く。）は6人で、前年より4人減少しています。また、火災による**死者全員が65歳以上の高齢者**となっています。

≪出火原因の1位は「たばこ」、続いて「放火・放火の疑い」≫

順位	原因	件数（割合）
1	たばこ	33件（16.8%）
2	放火・放火の疑い	24件（12.2%）
3	こんろ	15件（7.6%）
4	たき火・火入れ	14件（7.1%）
〃	電気機器	14件（7.1%）



## 2 救急 【救急出動件数は63,061件で、北九州市発足以降、最多】



令和5年中の救急出動件数は63,061件でした。前年と比較して3,342件（5.6%）増加し、**北九州市発足以降、最多**となり、1日あたり約172.8件、約8.3分に1回の割合で救急車が出動しました。

救急車で医療機関に搬送した人は56,043人で、前年と比較して4,300人（8.3%）増加しました。また、消防隊が救急現場に出動する「あかきゅう出動」は5,962件（全救急出動件数の9.5%）で、前年と比較して502件（7.8%）減少しました。



## 3 救助 【救助出動件数は459件で、出動件数、活動件数、救助人員ともに増加】



令和5年中の救助出動件数は459件でした。前年と比較して24件増加しました。出動件数（459件）の事故種別は、1位「建物等による事故」175件、2位「火災」99件、3位「交通事故」82件となっています。

当市において出動件数、活動件数、救助人員ともに**最も増加した事故種別は「建物等による事故」（出動件数昨年比63.6%増）**で、増加した要因は、**施設された住居での急病事案の増加**によるものです。



【問い合わせ先】

(火災)

予防課長 渡邊  
火災調査係長 貞池  
TEL 093-582-3836

(救急)

救急課長 大迫  
救急係長 三淵  
TEL 093-582-3820

(救助)

警防課長 関  
救助係長 田中  
TEL : 093-582-3817